

世界の踊りSHOW



世界にはなかなか見ることのない素晴らしい民族舞踊が多くあります。今回はインドやカンボジア、チベットなどアジアを中心とした様々な踊り！踊りを楽しみながら、アジアの国々を旅してみませんか。

12/11(日) 午後2時～4時30分

出演：ヌリッティアンジャリほか
6団体
会場：4階 講堂
対象：どなたでも
定員：170人（申込先着順）
受講料：1000円（一般）
：500円（中学生以下）

女性のための ゆったりヨガ教室A・B

託児あり



心と体がリラックスするひととき…。初めてヨガを体験する方、無理なく体を動かしたい方のための、初心者向けハタヨガのレッスンです。ヨガの呼吸法や動作を覚えながら、心身ともにゆったりとした時間を過ごしましょう。

12/9～29年2/24 毎週金曜日 (12/23・30を除く) 10日制
A:午前9時20分～10時20分
B:午前10時45分～11時45分

講師：西川 順子氏
(ヨガインストラクター)
会場：4階 講堂
対象：16歳以上の女性の方
定員：各40人（申込先着順）
託児：3歳以下の子どもA:5人、B:10人
受講料：5,300円(一般)、3,740円(高割・障割)
受講料には保険料も含まれています。
託児料：5,200円(1人10回分)

家族でもひとりでも楽しめる 「スポーツ鬼ごっこ」



「今、人気上昇中のスポーツ鬼ごっこ！」貴方も是非体験してみてください！昔ながらの鬼ごっこを進化させ、お互いに楽しくコミュニケーションをとりながら、戦略的に点数をとっていくゲームです。子どもから大人まで、運動の苦手な人も大丈夫です！一緒に楽しみましょう！

12/3(土) 午後2時～4時

指導：平峯 佑志氏
(一般社団法人 鬼ごっこ協会 事務局長)
会場：荒川河川敷
(千住新橋下右岸)
対象：小学生3年生以上の方
定員：30人（申込先着順）
受講料：690円（一律）
保険料：10円

冬の寄せ植え はじめてのハンギングバスケットA・B



冬の草花で寄せ植えにチャレンジしてみましょ！小物の飾りを変えるだけで、クリスマスやお正月も楽しめる寄せ植えです。狭い玄関にも置けるハンギングバスケットの飾り方もご紹介します。

11/26(土)
A:午前10時～正午
B:午後1時30分～3時30分

講師：栗本 恵美子氏（ガーデナー）
会場：5階 研修室5
対象：16歳以上の方
定員：各12人（申込先着順）
受講料：1,200円（一般）
840円（高割・障割）
材料費：2,300円
持ち物：エプロン、タオル、割りばし1膳
(お持ちの方は園芸鋏持参)
*汚れても良い服装

東京電機大学特別講演会 コルビュジエの世界文化遺産



今年、国立西洋美術館を含む、3大陸、7カ国にあるル・コルビュジエの建築作品が同時に世界文化遺産に登録されました。本講座では“近代建築運動の拡がりの証としての国立西洋美術館”をテーマにル・コルビュジエの作品紹介など同美術館設計のいきさつを推薦書づくりにかかわった東京理科大学の山名善之教授に講義していただきます。

12/9(金) 午後6時30分～8時30分

講師：山名 善之氏
(東京理科大学教授)
会場：4階 講堂
対象：16歳以上の方
定員：198人（申込先着順）
受講料：無料

帝京科学大学連携 精神科医と考える心の病と動物療法



現代人にとって、ストレスからくる心の病は誰にでも起こりうる病気です。その心の病とアニマルセラピーとのかわりについて、精神科医と一緒に考えていきます。

12/3(土) 午前10時30分～正午

講師：横山 章光氏
(帝京科学大学アニマルサイエンス学科准教授、精神科医)
会場：5階 研修室1
対象：16歳以上の方
定員：50人（申込先着順）
受講料：600円（一般）
420円（高割・障割）

特集 地域のちから55

この秋、江北美術展で

そったく “啐啄”の心に触れてみては如何ですか。



木村 繁先生と康子先生

毎年、秋に開催されている「江北美術展」について取材させて頂きました。会場は舍人ライナー西新井大師西駅から4分ほどの、木村耳鼻咽喉科小児科医院（木村繁院長、長女の康子副院長）。繁先生は森鷗外、五色桜の研究者としても有名です。

開院当時は交通が不便で、自称東京のチベットと呼んでいた病院前の道が、『江北ふれあいの道』と名付けられ、ハナミズキの咲く街路に改装されたのをきっかけに、病院のフロアを解放し江北美術展を開催（江北美術展ふれあいくらぶ主催）。今年で第23回を迎えます。「上手下手は関係なし、地域の文化交流、ふれあいの場として開催されています。小児科に来た子に絵を描くことを勧め、額に入った孫の絵をお爺さん、お婆さんが見に来たりするそんな美術展です。」と繁先生は笑顔で語られました。小さな美術展がボランティア、地域の皆さんの尽力で、共感の輪は広がり600～1000名の方が訪れ、小さなお子さんからプロの作品までバラエティに溢れています。

今年の『江北美術展』は、11月13日(日)～20日(日)開催。展示の他にプロの先生による折り紙教室、平家琵琶の素晴らしい演奏、五色桜の歴史。誰でも参加できるお茶席は、外国の方にも理解できるよう作法や道具の説明もあり、当日は子ども達が大活躍、日本の心を学べます。

『江北美術展』とほぼ同時期に開催される『ふれあいコンサート』は、11月23日(水・祝)に開催。「インフルエンザでピアノの発表会に参加できなかった女の子のため発表の場を提供してあげたのが始まり」と康子先生。タヒチアンダンス、オカリナ、混声合唱、医師会の先生方によるJHCハワイアンバンドなど、子どもから大人まで楽しめる入場無料のコンサートです。

繁先生のお好きな言葉は、禅語で「啐啄同時」。鶏卵が孵化する時、雛が殻の内からつつくの“啐”、母鶏がそれに応じ殻をつつくの“啄”で、両者が一致した時、雛が誕生する。学ぶ者の意欲に教える者がすばやく応じ、好機を逃してはならないとの意味。患者によく耳を傾け、心を合わせて、病氣と闘い健康を守る医療を目指したいと繁先生。『江北美術展』でも、作品を発表したい人、見て楽しみたい人、様々な方との出逢いがあり、その大切さをいつも感じています。今年も『江北美術展』が皆様のよきふれあいの場となることを願っています。と父娘の思いは同じです。

医療も、地域も、元気への秘訣はふれあいの心、情緒を育てると言われる芸術の秋、私にとっての“啐啄”を学んでみたくなりました。(広報ボランティア小林)

■木村耳鼻咽喉科小児科医院 足立区江北6-22-1



江北美術展風景



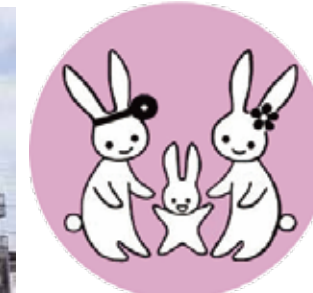
ふれあいコンサート風景



「江北美術展 ふれあいくらぶ」のみなさん



江北美術展の会場となる 木村ビル



シンボルマークの三匹のうさぎは、親御さんと医師が手を取り合って患者のうさぎを元気に育てようと、また耳鼻咽喉科と小児科の医師がうさぎ(大人を含めた患者)を癒し、健康になって欲しいと願ったもの。